

世界文化遺産「赤の広場（クラスナヤ広場）」



起源は、15世紀のイヴァン3世に遡りますが、ソ連時代を経て、今でも、重要な国家行事が行われています。

北西から南東に長い広場の周りは城塞と城壁に囲まれており、南東側には葱坊主屋根で有名な聖ワシリイ大聖堂、南西側は大統領府やレーニン廟、北西側には、国立歴史博物館、北東側には、帝政ロシア時代に建築され、ソ連時代には「物資欠乏を起こさない商店」、今でもロシア最大のデパートであるグム百貨店が位置しています。

会員 田中 みどり (47期)

